

平成28年度 DO事業計画書

概 要

DO-LIFEというスローガンのもと、ご利用者様の意思決定を重視し、輝き・潤い・温かさのある生活が送れるように支援する。具体的には、自分の力で人生を愉しむことを目指し、本人の希望や気持ちを探り、本人にとって最善を選べるようにする。

様々なプログラムをとおして、個々の生活のスキル向上と、人とのつながりの大切さを学び、地域社会を担う一員となるべく、自立を意識した支援を行う。そのためにも、地域社会へのアプローチを積極的に行い、地域とのかかわりの中で生きる力をつける。

また、高齢化が進むご利用者様への対策として、理学療法士による機能維持訓練を実施するほか、浴室の改修工事を行う。

地域の中の障害者施設の役割として、近隣に暮らす障害がある方への施設説明会をはじめ、市民に正しく障害者の理解を広げるべく、地域への啓発活動を行う。

職員には高いレベルで支援するために、必要な知識・技術・熱意を高めるべく施設内外の研修に参加させる。

1 利用者支援

(1) レクリエーション

レクリエーションは、決して強制されるものではなく、できる限り参加しない自由を尊重する。語源からも *recreate* (自分自身を生き生きと作り直す) を基本に、参加されるご利用者様、ご家族、職員の心が通いあう温かい行事を実施する。

主な年間計画

- 4月 春の旅行
 - 5月 屋上ランチ(入所のみ)
 - 6月 田植え
 - 7月 夏の旅行(入所のみ)
 - 8月 DO涼祭(入所のみ)
 - 10月 開園24周年記念行事
 - 11月 稲刈り
 - 12月 クリスマスイベント(通所のみ)
冬の旅行(入所のみ)
 - 1月 初詣(入所のみ)
- ※月に1度程度、買物・外食実習を実施(入所のみ)
※春・夏・冬の旅行費用は自己負担とする。

(2) クラブ活動

利用者の方の関心や興味があるクラブに希望で参加できるクラブ活動を実施する。

ア あとりえ

絵を描くことを主とした制作活動グループ。何か作り出すことで、自分を表現することを大切にしている。(実費は自己負担)

イ ヨガ

定期的に外部から、ヨガのインストラクターを招き、ストレス発散やリラックスなど精神安定、体の内部から力をつけていくなどの効果が期待できる。

ヨガ講師料 310,000 円

ウ スポーツチャンバラ

安全でわかりやすいスポーツチャンバラを実施する。健康維持やストレス発散に効果が期待できる。

インストラクター 26,000 円

エ ちよこつとCooking

料理の作る楽しさや興味深さと同時に、簡単な手順の料理を通して、グループで作るという意義を感じる。料理の作り方をマスターすることに重点を置くのではなく、料理を通して新しい刺激を感じたり、自己主張したり、自信を付けたり、コミュニケーションの拡がりの足掛かり等、『生きる力』につながるようにサポートする。(実費は自己負担)

オ 外出クラブ

季節を感じるちょっとしたお出かけや、利用者の方の興味や関心がある場所等への旅行を実施する。(実費は自己負担)

カ 創作クラブ

季節に合った創作クラブ等を実施する。(実費は自己負担)

(3) 社会の時間(施設入所支援のみ)

ご利用者様の意思決定の可能性や選択肢を広げていくためにも、社会生活に接する機会として、社会の時間を実施する。地域社会のスーパーや銀行、郵便局、地域のコミセンなどの社会資源を利用し、自分の力を試す機会をつくり、地域に対しては、障害がある人や施設への理解を深めることを目的とする。ご利用者様の能力に合わせて、できる限りトレーニングを行い、余暇の自立・充実につなげていく。

施設内では、必要な利用者の方に整容指導や買物の仕方、交通機関の利用法、社会の慣例、マナー、社会資源の利用法、自活に必要な基礎となる事をわかりやすく学習する時間を設ける。

(4) 心と体のケア

ア 運動の時間

ゲームやスポーツ、機能維持運動などの運動プログラムを定期的実施する。体を動かし、体力機能維持を図るだけでなく、ストレス発散により情緒の安定を目的とする。

イ 音楽の時間

高齢者の機能訓練も兼ねた太鼓ゲームを取り入れるなど、音楽プログラムを定期的実施する。定期的に外部講師を招き、音楽療法を実施する。

音楽療法講師料 180,000 円

(5) 作業

軽作業により、手指の巧緻性や坐位耐久力の向上を目指したり、生活のリズムとして作業を用いる。

販売収入 1,300,000 円

材料費・配分金 1,300,000 円

ア 喫茶作業 (C a f e D O)

施設内の喫茶C a f e D Oでの、飲み物やデザート類の調理販売を行う。D Oのご利用者様やその家族、職員、来客の方が利用される。商品は、安全で、美味しく、安価なもので、季節にあったものを提供する。また、プランター菜園で育てたものを材料に使用したものや低カロリースイーツも提供する。また、施設外での販売も行う。

イ リサイクル自転車整備販売

城陽市・宇治市の放置自転車を無料で譲り受け、整備点検し、市役所や地域のコミュニティセンターなどで販売する。

ウ 内職作業

納期が比較的緩やかで、単純で理解しやすい工程が多く、また坐位で行える(株)ユタカ産業の内職を行う。

(6) S S T (ソーシャル・スキルズ・トレーニング)

作業療法士を中心にS S T (社会生活技能訓練)を実施する。社会生活をする中で必要な、他者と上手くつきあっていく技能を身につけていくことを目的としている。

作業訓練講師料 234,000 円

(7) 高齢者対策

定期的に理学療法士による機能維持訓練を実施する。

(8) 食事

味覚だけではなく、五感全てを刺激するような食事時間を創造する。利用者の方からの嗜好調査の回答を参考に、「人気のある定番メニュー」を基本としたご利用者様にわかりやすい献立とする。

buffet形式や、屋外でのランチ、幅広いメニューの中から自分が食べたいものを前日に選べる『オーダーメイドメニュー』(施設入所のみ)、鍋料理など、食事のスタイルにもこだわる。この他、生活習慣病の治療・予防のための食事も提供する。

食材単価は、朝 160 円・昼 420 円・夕 350 円とする。調理業務は外部委託とする。

調理業務委託費 14,107,000 円

給食材料費 11,500,000 円

(9) 日課

別紙のとおり

2 苦情相談窓口

ご利用者様からの相談や訴えを聴く窓口を設ける。また、些細なことでも訴えをキャッチできるように意見箱を設置する。

3 広 報

利用者の方に施設内の活動(日課)やレクリエーションの予定、余暇の情報はじめ、保健医務、食事、来客(見学者)、歳時記に関すること、うるおいのある生活をするための情報は、「今日のお知らせ」を毎日作成し掲示する。

ご利用者様やご家族に施設の取組みをわかりやすく伝えるため、情報誌を毎月発行する。また季節ごとに「もりもり新聞」を発行する。

4 保健衛生

(1) 健康管理の強化と疾病予防

体重、運動量、食事量、睡眠状態などの日々の本人状況を総合的に判断し、健康管理を行う。年2回の健康診断により、生活習慣病等の早期発見・予防に努める(施設入所のみ)。適度な運動を定期的に行い、生活習慣病の予防に努める。

(2) 衛生面の強化(施設入所のみ)

衛生面だけではなく、リラックスのためにも、毎日入浴とする。生活支援の時間を設けて、本人の整容や部屋の衛生面の向上を図る。

5 防 災

避難訓練、消火訓練を実施する。自己防衛のため入所のご利用者様でつくる避難誘導隊の訓練を行う。非常時の備えとして、備品と備蓄食料の点検と補充を行う。

備蓄品代 50,000 円

6 設備整備・改修計画

(1) サロンの床を畳敷きに改修する。

修繕費 180,000 円

(2) 要介助個別入浴用浴室(2階ユニットバス改修工事)を整備する。京都府補助金事業として実施する。

改修費 1,510,000 円

補助金収入 1,200,000 円

修繕積立資産取崩収入 310,000 円

(3) 1階浴室に手摺りを設置する。

固定資産取得費 220,000 円

(4) 5人乗り車椅子車両1台をリースで整備する。

リース料 350,000 円

7 情報公開

施設事業の透明性を確保するために第三者評価を受審する。受審結果はホームページで公開される。DOホームページでは施設の取組みを随時公開する。

第三者評価受審料 308,572 円

ホームページ更新費 172,000 円

8 職 員

(1) 人事考課

給与、賞与に人事考課を反映させる。人材育成に取り組む。

(2) 職員研修

施設内外の研修に参加させ、仕事へのモチベーションを高め、質の高いサービスの提供を目指す。

研修費 200,000 円

(3) 一般事業主行動計画

職員の家族の職場訪問日を開催する。

家族職場訪問開催費 2,000 円

(3) 求人活動

就職情報サイトの活用や就職説明会を開催する。

就職情報サイト掲載費 648,000 円

就職フェア参加費 60,000 円

9 ご家族とのつながり

定期的にご家族への連絡会を設け、施設事業の説明や施設の考えや方向性の理解に努める。また、可能な範囲で施設の行事に参加していただき、職員との良好な関係を構築する。

10 実習学生・ボランティアの受入れ

利用者の方の生活の妨げにならない範囲で実習や見学を積極的に受入れ、外部(第三者)の目を施設内に取り入れ、開かれた状態をつくる。

11 地域とのかかわり

毎年、地域福祉対策として、実施している「DO Smile Meeting」を今年度は『DO』の施設見学会とする。地域に住む障害がある方や地域住民に対して、施設機能や専門性を開放し、障害者施設や障害がある人への理解を深めるとともに、障害がある方のニーズや障害の状態を把握する。

開催費 100,000 円

13 その他

(1) アートジャンクション2016の開催

障害者福祉の枠にとらわれず、広く『DO』や知的障害がある人の理解につながるよう、機会があれば、他の異業種団体・個人とのコラボレーションを展開し、内的活性化を図るとともに、情報や設備、人材(専門知識)などを共有する。それにより、施設に欠けているものを補い、障害者や支援施設について、地域や一般の方々へ啓発をすすめるため、コラボ展アートジャンクション2016を実施する。

開催費 50,000 円

(2) DOサービス検討委員会

施設サービスの現状と今後のあり方について、施設とご家族の間で意見交換や検討を行うことを目的として、職員と家族会役員で構成するDOサービス検討委員会を設置する。

(3) 送迎サービスの実施

生活介護をご利用の方々に、城陽市役所、JR長池駅、新田辺駅への送迎サービスを実施する。(原則として平日のみ)